

学生図書委員会 活動報告ほか

広報プロジェクトの活動

4E 紀伊 凜香

広報プロジェクトでは、図書委員の行った活動について皆さんに知ってもらうため、CAMPUSや図書館だよりに記事を書けることを主に活動してきました。夏には、夏休みに学生の自宅に届くCAMPUSに6月のブックハンティングについて掲載しました。

これまでも広報プロジェクトでブックハンティングに関する報告は行っていました。しかし、今年度プロジェクトリーダーをさせていただくにあって、何か今までの活動の中で行っていないことをやりたい、自分で紙面の構成を考えて新しいものを作りたい、そう考えました。その結果、普段ブックハンティングの集合写真でしか紙面に出ることのない図書委員のメンバーに参加を募り、各自のおすすめの本と一緒に写真を撮ってもらいました。そして、CAMPUSにそのおすすめの本に関するコメントを寄せてもらい、それを紙面に載せるという試みをしました。締め切りまであまり時間がなく、たくさんの委員にコメントを要望していたこともあり、休み時間に校内を回ってコメントを募りました。しかしブックハンティングのときほかのプロジェクトで実施したものとリストを混同してしまった委員がいたこともあり、委員の中には「これCAMPUSに載るんですか!？」と驚く人もいて正直に言うと焦りました。また、撮影した写真をトリミングするのも私の仕事で、とても苦労した覚えがあります。しかし、時間がながいながらも名倉先生と相談し、結果先生に大きく頼ってしまいましたが、図書委員会としての活動をCAMPUSに掲載し、学生や保護者の方々に知っていただけたことは貴重な経験となりました。

11月のブックハンティングについては、この図書館だよりに掲載していただきました。夏同様、おすすめの本とともに、委員会メンバーの写真も掲載しておりますので読んでいただければと思います。また、コラムのような形で、広報プロジェクトメンバーによる「冬」がテーマのおすすめ本の紹介も行っておりますのでこちらもよろしくお願いします。

来年度もきっと図書委員をすることになると思いますが、後輩がプロジェクトを引き継いでくれるのを楽しみにしています。

雑誌入替プロジェクトの活動

4I 吉岡 浩輝

私は、今年図書委員で雑誌入替プロジェクトのリーダーを務めさせていただきました。雑誌入替は毎年行われているもので、仕事内容としては、今年あまり読まれなかったなどの理由から全雑誌から何冊か図書館から抜く雑誌と来年図書館に置いてほしい雑誌を決めるというものです。今年はず、10月に図書委員内で抜く雑誌の候補を絞り、かつ来年入れる雑誌の候補も募りました。その後、冬休み前まで図書館にアンケート用紙を設置して全校生徒に入れたい雑誌の候補を募りました。それに関する告知も行いました。そして、募った入れたい雑誌候補の見本の購入とアンケートの集計を行い、冬休み明けに行う最終投票の選択肢を10個にまで絞りました。冬休み明けには候補雑誌の見本を展示するブースを設置し、それに関する告知を行いました。そして最後に、最終投票を行い集計して結果を図書館に公開する予定です。今回プロジェクトリーダーという仕事をし、メンバーの皆さんを使うのが難しかったです。大体のことは一人でもできることだったので、メンバーの使いどころが分からず、一緒に仕事が出来なかったのが反省点です。しかし、去年はプロジェクトを進めるのが遅くてかなりドタバタだったらしいので、今年は早めに始動させたおかげで、焦ることなく進めることが

できました。また、私自身編入生ということで学校のことが何もわからない状態でのリーダーでしたが、図書委員の皆さんにたくさん助けていただいたおかげで、なんとかやりきることが出来ました。

読書週間プロジェクトの活動

4M 源 貴裕

さんこんにちは。本年度、読書週間プロジェクトリーダーを務めさせていただいた、機械工学科4年のみなもとです。今回は、図書館だよりのスペースを使ってプロジェクトの活動紹介と本年度の活動報告をさせていただきますと思います。

読書週間プロジェクトは読んで字のごとく、図書館で行われる「読書週間」の展示に関する企画、準備を行うプロジェクトです。

具体的には、「読書週間」は毎年10月に開催されるのでそれに向けて選書のテーマを決めていきます。テーマが決まるとプロジェクトに参加している学生が各々テーマにあったおすすめできる本を選書し、それにオススメコメントを合わせて展示、飾り付けをします。また、アンケートを実施して図書館の利用状況展示に関する感想を集計して図書委員会で共有しています。

そして本年度は、例年と違いテーマを一つに絞らずに「図書委員が勧める読書週間」というコンセプトでプロジェクトが始動しました。まずそのために、6月に行われたブックハンティングにおいて参加している委員各自がおすすめする本を選び、夏休み中にオススメコメントを書いてきてもらいました。

そして、夏休み明けにコメントを回収し、ポップを作り展示をしました。今回は例年と違う事をしようと思ったときはどうなるかと思いましたが、委員が選書した本も非常に興味深く、面白く、やって良かったと思います。ただ、今回はアンケートを実施したにもかかわらず回答数が少なかったことが心残りです。なので、今回の展示によって分かった改善点を来年に活かしていきたいです。

以上が本年度の読書週間プロジェクトの活動報告になります。来年以降も読書週間展示は開催しますので、もしよろしければぜひ図書館に立ち寄ってください。

また、これ以外にもたくさんプロジェクトがありますので興味を持っていただければ幸いです。

図書委員が厳選！

小説から専門書まで、あなたに読んでもらいたい一冊



1M 林真由

「桜風堂ものがたり」(村山早紀)

この本は書店員にスポットを当てた小説です。そこにキャラクターたちの人生を乗せてゆっくり進んでいくストーリーです。はじめは語り手が変わったりして読みづらく感じるかもしれませんが、どんどんはまっていきます。

「恋のゲレンデ」(東野圭吾)

東野圭吾の作品で、ミステリーではないですが、終始ドキドキハラハラする内容です。物語はグループの恋愛ものですが、どんでん返しが多く含まれており、ミステリーものが好きな人でも楽しく読むことができます。」



2I 杉谷唯子

「私という謎」

(寺山修司)

冬に関するおすすめの本

「オリエント急行の殺人」

(アガサ・クリスティー)

雪に覆われた列車の中で起こる殺人事件を名探偵ポアロが解決するミステリー。

「The Little Book of SNOWFLAKES」

(Kenneth Libbrecht)

雪の美しい結晶の写真が多数掲載された写真集です。

「疾風ロンド」(東野圭吾)

スキー場を舞台に巻き起こる事件をスピード感たっぷりに描いた小説。